



e-La Voz
「エー・ラ・ボス」と読みます

HCJB『アンデスの声』
日本語放送
メールマガジン
(第37号)

2006年1月26日発行

アマゾンの森から年明けおめでとう

内田 作

2006年の幕開けを皆様はどこで、どのようにお過ごしになられたでしょうか。このところ呼ばれている世界的異常気象はエクアドルにもおよび、前年から続く深刻な水不足による野菜の高値が庶民生活に影響をあたえています。それでも年明けには雨も降りはじめ、高山特有の稻妻が連日、空を大きく切り裂き、大地に雨を呼びこむようになりました。雨にうたれてミモザアカシアの花を枝にも地面にも咲かせています。いつも散策する公園の木々も水分を吸い込んで新しい命をはぐくもうとする、その姿が愛しく、こんなには必死になって生きようとしていない私の心をゆさびります。



さて、年の暮れから正月三日までエクアドル東部のアマゾン地区で過ごしてきました。アマゾン川の支流の一つナポ川をモーター付きカヌーで遡ること約2時間半。原生林の森が今も残る場所に私たちの宿泊ロッジがありました。川岸は以前にくらべると確かに人々の生活がふえており、この快適なロッジも果たして自然にやさしいロッジなのかと複雑な気持ちでした。その論議はともかく、この場所にこれだけのものを作った方たちには頭が下がります。これまでのアマゾン体験では、こんなに子供と老人に優しい気配りの行き届いたサービスは他では味わえませんでした。ここでは懐かしい顔ぶれとも再会できて「また逢えたね。」と挨拶を交わしながら疲れた体をいやすことができました。

なぜか私自身アマゾンの熱帯雨林に強烈に引かれる感性を持ち合わせているようです。ジャングル入口のコカの町の飛行場に降り立った瞬間から、私の体は普段意識したことのない細胞が動きはじめ、こんなにも体内に酸素が行き渡っていなかったのか、と思うほど活性化します。起きたての細胞をアンテナにして、周りを取り巻く命の鼓動に耳を澄ませば、このアマゾンの森で生きていく強さは自分にはないこと、文明という道具を身につけてでしか、命を保ち森とつき合う術はないことがわかります。なんと人間は脆弱な生き物であるかを、この優しい森は容赦なく見せつけてくれるのでした。





着いた晩が大晦日。湖畔の岬に集まってスペイン語でカウントダウンしながら新年を迎えるました。湖のほとりにはワニ、ピラニア、コウモリ、そして多種類の虫たち、仰けば星座もとけこむほどの満天の星と新月、地上では燃やされるのを待つ人形（「古い年」と呼ばれる等身大の人形）…。天からも、地からも、水からも、力強い息吹が押し寄せます。そんな中、自分の鼓動の音だけが馬鹿に大きく響きだし、思わず私は大きな森にむかって、「私もここにいます！」と叫んでしまいました。小さな小さな生命とはいえ、ただただいとおしい自分自身をしっかりと抱きしめてやり、「行く年」に刻まれた恵みを数えつつ、神に感謝ながらの年越しでした。アマゾンの森から始まった2006年。アマゾンのとてつもない生命力と新しい息吹に押し出されて「来る年」をまっしぐらにすすんでいきたいと思っています。

【内田 作さんのプロフィール】

現在エクアドルの首都キトで観光事業に従事。キト日本人学校時代から「アンデスの声」のドラマ番組に数々出演。父親は貿易会社取締役で、同放送の「エクアドルこの一年」に、母親は「お便りコーナー」に長年出演。一家は在留邦人や日本人旅行者のよろず相談役となっている。

HCJB日本語放送担当

在住 尾崎一夫 久子

【ホームページのご案内】

HCJB日本語放送のホームページ(<http://japanese.hcjb.org/>)には、リスナー・コミュニケーションのためのふれあいコーナー「[フォーラム](http://japanese.hcjb.org/forums/)」(<http://japanese.hcjb.org/forums/>)と、メールマガジンのバックナンバーを揃えた「[メールマガジン e-La Voz らいぶらり](http://www.hcjb.org/japanese/mmz/)」(<http://www.hcjb.org/japanese/mmz/>)のページがあります。どうぞご利用ください。

このメールマガジンは、HCJB日本語放送の管理するメール・リストに登録されている方に無料でお送りしています。このメールマガジンをご覧になってのご感想やご意見、ご要望などは、[HCJB日本語放送](#)までお送りください。

また、このメールマガジンの配信停止、配信先変更、あるいは新規ご登録も[HCJB日本語放送](#)までメールにてお知らせください。なお、メール・リストは配信先メール・アドレスのみで管理されていますので、配信先変更をご希望の場合には、現在登録されている配信先も併せてお知らせください。

Copyright © 2006 by HCJB. All rights reserved.



日本語ホームページ: <http://japanese.hcjb.org/>

Eメール: kozaki@hcjb.org

郵便の宛先:

Mr. & Mrs. Kazuo Ozaki
1920 Berkshire Pl., Wheaton, IL 60187-8050, U. S. A.